

るものがある。しかし、鹿鳴館風の事務所の建物は明治の時代のムードをただよわせ一種の雅趣がある。

午後 3 時 40 分小坂鋳業所を辞し、一路宿泊地である十和田湖畔休屋へ向つた。途中十和田湖五大展望所の一つ発荷峠の展望台で小休止、暮色せまる十和田湖の景観を鑑賞し、5 時 30 分休屋についた。

#### 十和田、八甲田山観光 (10月21日)

いかにも僻陬の地に来たような思いを誘う宿の気分は山の冷気とあいまって聊か佻しすぎるくらいはあつたが翌 21 日は無風快晴絶好の観待日和となり、そうした思いも消えきつて、この日の期役に張切つた。

午前 9 時 40 分遊覧船で子の口に向う。船は湖中に突き出た中山、御倉の二つの半島に添うて進む。一体に十和田湖を巡る山々はあまり高くも峻しくもなく、箱根や日光に比べて雄壮、豪快さに欠けるが、繊細、華麗な美しさに富んでいる。その極致がこの二つの半島と奥入瀬の溪流である。蓬来島、高砂の浦、九重の浦、見送りの松千鶴ガ崎、小町岩など、中山半島の入り組んだ汀線の曲浦や、小島に名付けられた。優にやさしいこれらの名が示すように、湖上から眺める半島は優美、艶麗そのものである。九条武子夫人が、「琅玕の玉を溶かしてまだ足らずな秘めたるやこの湖の色」と詠んだように水の色はあくまで青く、半島の岩山に這う姫小松、赤松などの

緑の中に真紅に燃え、あるいは黄金色に映えた潤葉樹が妍を競っている。10時40分子の口着、ここで待つていた前日のバスに乗り、いよいよ名にしおう奥入瀬の溪流を下る。子の口から焼山までの 14 km をバスは溪流を縫うて進む。途中白銀の流れ、飛銀の流れ、阿修羅の流れなど急湍は幾つかあるが、14km の落差がわずか 193m であるから、おおむね青く澄んだせせらぎが紅葉をうつしてゆるやかに流れている。溪流の左右にはトチ、ミズナラ、カエデ、ブナ、ホオなどの大木が鬱蒼と生い茂り錦繡の綴れを織る。その木の間から九段の滝、姉妹の滝、不老の滝、白絹の滝など 10 幾つかの滝のかかるのが見える。いずれも嫋々切々たる風情で、遊子の旅情をそそるものがある。薦温泉で昼食をとる。ここでは十和田と緑の深い明治の文豪大町桂月翁の墓所に敬意を表した。午後 1 時 30 分バスは八甲田山に向う。八甲田大岳の中腹にある酸ヶ湯温泉で小憩、名物雲谷そばを食べ旅日記の代りとした。八甲田連峰の最高峰八甲田大岳はすでに雪を頂き、遠く岩木山がクツキリと見える。萱野高原をすぎ青森湾展望所に至れば津軽半島と下北半島に抱かれた青森湾そして青森市が眼下に展ける。その終着地青森市に午後 4 時 50 分到着、夕映のなかに聳える八甲田の山々に名残りを惜しみつつ青森駅で解散した。(若松茂雄)

#### (特許記事 1948ページよりつづく)

ン、ヘルマン・ヤンゼン、ベンヘルト・シヨル、出願：ツィンメルマン・ウント・ヤンゼン・ゲゼルシャフト・ミッド・ベシュレンクラル・ハフツング

[注：熱風炉の電気操作式の熱風炉切換制御装置]。

#### 高炉々底強制冷却法

特公・昭35—16452 (公告・昭35—10—29) 出願：35—524, 発明：菅原常典, 出願：日本鋼管株式会社

#### 金属精錬炉

特公・昭35—16453 (公告・昭35—10—29) 出願：33—4—28, 発明：北島一男, 中村陽一, 出願：八幡製鉄株式会社

往復転動装置上に設けた扁平球形炉において該炉の天井部に燃料および反応ガス吹込みランスを昇降自在に設けかつ転動軸方向に装入口および排出口を設けると共に前記転動軸側方に排気孔を開口して設けた。

#### 生合金製造法

特公・昭35—16454 (公告・昭35—10—29) 出願：33—12—23, 発明：上方俊三, 佐藤八郎, 出願：三菱金属鋳業株式会社

#### 含クロム鉄より製鉄原料を得ると同時に

#### 純アルミナおよびビクロムを回収する方法

特公・昭35—16455 (公告・昭35—10—29) 出願：33—11—6, 発明：松塚清人, 有森毅, 出願：八幡製鉄株式会社

微粉砕した含 Cr 鉄鉱石に適量のソーダ灰、石灰を加えて加熱するか、あるいはこの混合物に適量の水を加えてペレットに成型し酸化雰囲気中に加熱したものを温水または炭酸ソーダを含む稀アルカリ性溶液で温時抽出し

鉱石中のアルミナおよび Cr 等を溶出除去し、製鉄原料を得る第 1 工程と、該抽出液に含有アルミナ量に対し重量百分率で 5~30% の石灰を含む石灰乳を加え、更にその石灰量に対し 0.5~1.0 当量の炭酸ソーダを加えて煮沸するか、または加圧加熱処理し、含有珪酸分を珪酸 Ca 水和物あるいはソーダアルミナ珪酸塩水和物として除去した後、これに適当な温度で 40~60°C で炭酸ガスを導入して純アルミナを得る第 2 工程と、その母液を適当に濃縮した後、濃硫酸を加えて蒸発し析出する芒硝を除去ししかる後冷却して生 Cr 酸ソーダの結晶としてクロムを回収する第 3 工程との結合を特徴とする。

#### 成型ダイス用合金

特公・昭35—16456 (公告・昭35—10—29) 出願：33—11—4, 優先権：1957—11—25 (米), 発明：ステフェン・ジョージ・テマージェン, 出願：ゼネラル・エレクトリック・コンパニー

重量で C 0.5~0.6%, Mn 1.5~2.5%, Si 1.25~2.5%, Cr 3~4%, W 0.75~1.5%, Ni 1~2%, V 0.75~1.5%, 残分は主として鉄より成ることを特徴とする高度の衝撃強度、磨耗抵抗、熱時硬度および対熱的亀裂抵抗を有する成型用ダイスに使用するに適した空気硬化性合金。

#### 厚さ減少装置

特公・昭35—16457 (公告・昭35—10—29) 出願：33—10—16, 優先権：1957—10—16 (カナダ), 発明：レオナード・ロビン・ハフレス, 出願：カネディアン・ウェスタン・ハウス・コンパニー・リミテド